



## 地球市民の一員として

### Global Cooperation

地域や世界の皆様と一緒に、できることから始めたい。  
そんな思いからスタートさせた  
環境保全プロジェクトがあります。

#### ✦ コスモ・ザ・カード「エコ」

「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトは、入会時および次年度以降の入会月に会員の方からお預かりする500円の寄付金と、コスモ石油からの寄付金を基に作られた「コスモ石油エコカード基金」によって運営されています。「ずっと地球で暮らそう。」を合言葉に、地球温暖化防止をメインテーマとして、国内外での環境保全活動や次世代を担う子どもたちへの環境教育の支援活動を展開しています。

会員数は発行以来4年で約78,000人になりました。

効果的な支援を行うために、基金のスタッフがプロジェクトパートナーであるNPOなどとともに検討を行い、企画して、地域の住民や行政の声を聞き、「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを推進しています。

## ●「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクト

地球市民の一員として「何ができるのか」「何をすべきなのか」を考え、企業の枠を超えて、お客様や地域社会など、多くの人とともに環境保全活動を進めています。基金ではより透明・健全な運営を目指し、外部の専門家の方々からご意見やアドバイスをいただく「プロジェクト評議会」を開催しています。

熱帯雨林 保全 プロジェクト	【バブアニューギニア/ ソロモン諸島】 CO <sub>2</sub> を吸収する熱帯雨林の破壊が地球温暖化を加速させるものとして、大きな問題となっています。バブアニューギニアやソロモン諸島でも、急激な人口増加などの影響で、森の回復力を上回るペースで焼畑農業の耕作地が広がっています。わたしたちは森林への負担をかけない定地での循環型有機農業の普及を支援しています。		
南太平洋 諸国支援 プロジェクト	【キリバス共和国】 地球温暖化が原因と言われる海面上昇で、井戸水の海水化や海岸線の浸食などの被害に直面する、南太平洋の島嶼国を支援しています。	シルクロード 緑化 プロジェクト	【中国】 農作物の不作による食糧不足や貧困などの問題を生む砂漠化の進行の防止をめざして、地域住民や地元政府とともに、シルクロードへの植林を推進しています。
循環型 農業支援 プロジェクト	【フィリピン】 今まで捨てられていたキャッサバの葉を再利用し、養蚕を核にした循環型農業による地域の持続的発展を支援しています。	秦嶺 (シンレイ) 山脈森林回復 プロジェクト	【中国】 秦嶺(シンレイ)山脈では、森林伐採のつめ跡が残り、森の生態系が崩されています。植林を通じて、本来の森を回復させるプロジェクトを開始します。
学校の環境 教育支援 プロジェクト	【日本国内】 日本各地のNGOとともに、教育の現場「学校」での環境教育を支援しています。	環境学校 支援 プロジェクト	【日本国内】 野口健さん率いるNPOとともに、富士山や小笠原諸島などで「環境学校」を開催し、環境に対して自ら行動できる子どもたちの育成を支援しています。

## ●クリック募金

コスモ石油のホームページで支援したい「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトをクリックすると、クリックされた方に代わってコスモ石油が1円を寄付します。2003年2月から2005年3月までの寄付総額は6,643,210円に達しました。

<http://www2.cosmo-oil.co.jp/kankyo/charity/index.html>

✦ 植林支援を通じたCO<sub>2</sub>の吸収

コスモ石油では、オーストラリア南西部で5,100ha(山手線の内側の広さ)のユーカリの森の育成を支援しています。この森が吸収したCO<sub>2</sub>を2002年度に24,000t-CO<sub>2</sub>、2003年度に47,489t-CO<sub>2</sub>、排出権として取得しました。

また、この排出権で、コスモ・ザ・カード「エコ」会員の方が使用するCO<sub>2</sub>を相殺する、「CO<sub>2</sub>フリーガソリン」企画を2002年度から実施しています。2004年12月には、2003年度に取得した排出権のうち15,819t-CO<sub>2</sub>を会員の皆様に付与し、その分のCO<sub>2</sub>がオーストラリアの森林に吸収されたことになりました。

※現在、オーストラリアが京都議定書を批准していないため、京都議定書上の排出権としてはカウントされません。

## ✦ 地球規模での協力

コスモ石油では、地球温暖化などに起因する環境被害に直面する国や地域への協力を進めてきました。お隣の中国では過度の伐採が生物多様性に影響を与えていることから、絶滅危惧種の代表である、孫悟空のモデルとなった「キンシコウ」の保護への支援を実施しました。また、定地での循環型有機農業の普及をめざしている南太平洋のバブアニューギニアやソロモン諸島などの政府に対しては農業器具の提供を行うなどの活動を進めています。

## People's Voice



多田博之  
ジャパン・フォー・サステナビリティ  
共同代表

Hiroyuki Tada

コスモ石油はエネルギー資源会社として環境への直接影響削減に大きな責務を担っていますが、持続可能な社会構築のために、間接影響削減をも含め様々な努力を重ねています。

エコカード基金は環境への思いを持った人々と環境への専門性を持ったNGOとを橋渡しする新しいモデルであり、企業はここでコミュニケーションエージェント機能を果たしています。500円というワンコインで誰もが入りやすい目線で、7万5千人以上もの会員を地道に集めてこられたことはひとつの驚きであり、爽やかな感動でさえあります。

この人々の「思いの原資」を、途上国など困っている現場を厳選した上で、プロジェクト活動資金として受け渡すという形は、グローバルな信頼のネットワークづくりには他なりません。

今後はタテの連携に加え、会員間、NGO間のヨコの交流や連帯を促し、新たな価値創造の起点として、このエコカード基金をさらに進化させることを期待しています。

それこそが、コスモ石油におけるCSRの新たなチャレンジと考えます。